



「真に大切なもの」

真幸先生は、昭和二十年八月八日に疎開先にて、甲府教会三代教会長牧野武男先生・知恵子夫人の三女（五人兄弟の末っ子）としてお生まれになりました。

戦後の食糧不足の中で母乳がほとんど出ず、お芋をすり潰したものを食べて大きくなられたということですが、高校卒業後、県外の大学受験に失敗し、しかたなく県庁職員になられたそうです。

Q 金光教の教師になるおつもりは？

真幸先生（以下…真）…教会に生まれましたが、親は強制的に信仰をさせようとはしませんでした。多感な時代は家が教会であるということが嫌で、早く家から出たいと思ってました。信心というものが分からなかったのです。だから金光教の教師になることは、全く考えていませんでした。

Q やりたい仕事があったのですか？

真…当時は、自分が何をしたいのか分かりま

せんでした。県庁を辞めて地元の大学に入り、中学校の教師になりましたが、それも自分にはむかぬと感じました。それで、友人が京都にいたので、伝統工芸の職人になろうと思って京都に行きました。

川でスベって山でコロんで……とってきました

Interview

第26回 牧野真幸（まさち）先生（甲府教会）



Q 両親はどう思われたのでしょうか？

真…父は心配したようですが、母は半ば諦めていた

ちに、教授の紹介で、NCC宗教研究所の職員として働くことになりました。

Q どういう研究所ですか？

真…主としてキリスト教の牧師さんや神学者が、日本の諸宗教を学び、対話する為に研究会や研修会を開催します。また、英文誌と日

本誌の機関紙を発行しています。外国から来た研究者に日本の宗教に関する資料や情報を提供します。そこで編集と事務の仕事に約十二年ほどしました。

Q いろいろな宗教を学ぶ機会があったわけですね。

真…門前の小僧で、各宗・各本山のトップの方や有名な宗教学者の方々にお会いしました。また普通の方たちでもしっかり自分の信仰をもっている多くの素晴らしい人々に出会い、信仰がとても大事であることを痛感しました。

その時、自分自身もいろいろな問題、壁にぶつかって行き詰っていたので、研究所の図書室にあった宗教関係の本（金光教の本も）を読んでいるうちに、自分の根っこ、真に大切なものが、ここ（金光教）にあることに気がきました。高橋正雄先生の本には特に心を打たれました。先生の「道が間違えていれば行き詰まらせて下さる」のお言葉が私を金光教教師としての生き方に導いて下さいました。

色々寄り道、まわり道をしましたが、自分はこのように生きたいのだという道が、実は金光教の中にあつたことを今はとても有難く思い、力不足をお詫びしつつ日々ご用させて頂いてます。

○ありがとうございました。（今村則子）

☆連合会に思う

信徒部長 高橋 正一

本年一月二十九日に開催されました総会より前信徒部長吉田章一郎氏の後を引き継ぎ信徒部長、合わせて連合会の副会長という大役の御用をさせて頂くことになりました。

何も解らないでのお役、先生方や、信徒の皆さま方の大きな力を支えに務めてまいりたく思いますので宜しくお願い致します。

文明・科学が発達し、経済が豊かになる、その反面、人の心が廃れ神から頂いた万物の霊長たる人間の「助け合い・支え合う心」が消えてしまった。

世界では、中東地方の内戦、暴動、宗教闘争、別の国々ではあちこちで醜い闘争が起きている。

日本では、「日本人本来の姿」和を持って貴しと為す」が消えて疎遠から無縁社会となり、引き取り手の無い遺骨が年間三万二千人ある。老人ホームの職員が「家族に捨てられて」入ってくるると平然と言う社会、すさび来にける人心、今こそ信仰が要求され、信心することにより救う時が来たのではないでしようか。

「遠いとは、人の心の隔てなり、何れの里も神のふところ」：人間本来の姿に戻る。

そんな中、連合会は基本方針である「世界人類の助かりのために、金光大神の信心を

求め現す」を目指しての教師、信徒が一体となつて信心を求め直していくことが大切なのではないでしようか。

〔お願い〕今までの思いを含め

- ・連合会の益々の活発、活性化する。
- ・各教会の隔てなく、教師、信徒の積極的協力をお願い致します。
- ・教会に届く数々の連絡事項は、全信徒に必ず通知して頂きたい。

・連合会をはじめ、教団・関東信の会合や催しものにもつと参加してほしい。

(良いことが必ずいっぱいあります)

・もつと教会同士の、また教会の枠を超えた信徒の交流が出来ればと思う。

・信徒が持ち合わせている様々な「物・事」を共有し合うことができれば。

・私及び連合会に対してのお気付きになりました、考え、案、意見がありました是非お知らせ下さい。

原稿を送る矢先に、東日本巨大震災が起き九〇〇という世界最大級の地震となり、日が経つにつれ尊い命が亡くなり、勞しい町、瓦礫の町、壊滅状況を見るに、自分には何もできない不甲斐なさ、「神」は何を気付け、何を知れ、何をお試しか、どのように受け止めるか大きな課題ができました。

人間の原点に戻り、それこそ、「和の力」を発揮して、励まし合い、支え合い、助け合い立ち直れと教えられた気がします。

かりんの輪



「神様への貯金」

大明教会 岩間 俊広

今日まで生かされて来た事に、先ずは、天地の親神様にお礼を申さなくてはなりません。

幼少より体が弱く、家族の手を煩わせていましたが、祖父母や母の信心により、体の丈夫の御蔭を頂き、神様に感謝のお礼の毎日です。

自宅の御神殿を、毎日丁寧に掃除する祖父の姿、母が、自宅の御神殿に向かい、ご祈念する姿や、教会へ日参する姿を幼少より見て、自然と自宅の御神殿に手を合わせ、教会へ参拝する様になりました。教会へ参拝して、先生より頂いた教祖様のお話や、信心の御蔭話、教典や金光新聞からの御蔭話を参考に、自分の生活に合わせた信心の稽古をさせて頂いています。

以前、自宅庭にて、灯油缶を持って転倒した事がありました。頭から転倒したにも関わらず、軽い瘤だけで済みました。また、7年程前には、自転車に乗車中、歩道側溝に、車輪を取られ、転倒しました。歩道上で一回転して、膝を創傷、左中指脱臼で、軽い手術を受けました。その時、頭を打ったにも関わらず、軽傷でありました。もしも車道に転倒し

☆ 首都圏

女性の集い

今年も2月11日(祝)、東京教会地下のイーストホールで、「首都圏女性の集い」が行われました。今年は、銀座教会教徒、フォトスタジオ「なつ」の経営者で、カメラマンとしても活躍の大竹聖子さんを講師に迎え、「フラインダーを通して、何が見えますか」という講題でお話を聴きました。14万人の学生さんの、履歴書に貼る写真を撮られたという体験を踏まえたお話は、具体的にわかりやすく、高齢者にとつて共感できる内容でした。

というのが、企業の採用責任者は概ね50代より上の方が多いわけで、その目線は我々高齢者とはほぼ同じと言って差し支えありません。実際、用意して頂いたパンフレットには、写真館に來られてすぐ撮った写真と、アドバイスを受けてから撮った写真を、多数並べて下さっているのですが、一目瞭然、後者が好感度アップしているのです。男の子は眉を剃りこんだり、髪を逆立てたり?している人が多いいのですが、そういう人たちが企業が喜んで迎えるとは思えません。お話を聴きながら、「そうか、就活には、我々祖父母世代の感覚が必要なんだ。もう古いとあきらめないで、若い人にどんなアドバイスしなくては」と思いました。実際、大竹さんは「今の子供はかわ

いそうだ、親に厳しくしつけられていないから、どうしていいか、わからない。勉強はできて、態度、言葉遣いなどいわる“しつけ”ができていない。それが、面接の時に如実に出てくる。内定を取ってくる学生は、親によくしつけられた子供だと思う」ということでした。

おまけとして、イメージコンサルタントの佐藤ケイさんからお話を伺いました。佐藤さんは長年テレビ局などで、役者さんのメーカーキャップを担当されたご経験から、同じ役者さんを、ある時は犯人に、ある時は善良なおじさんに見せるコツなどをお話下さいました。一つ中高年の男性のために有益なお話を伺いました。高齢になると、加齢臭を嫌われることがあるようですが、その種の臭いは耳の裏、上など、眼鏡のフレームが当たる部分から出ることが多いそうです。加齢臭を防ぐには、シャンプーの時に、そこを念入りに洗う、それだけのことで十分効果的なのだそうです。どうぞ参考になさってください。

実質的具体的な内容は参考になり、金光教の信心を基本に据えた経営姿勢を結びにされたお話は感動的でもありました。雪混じりの雨が降る寒い日でしたが、お得な気分でウキウキと帰ることができました。

(報告・大塚東子)

て車と接触していたら、命は無かったのではないかと思うと、改めて生かされて生きている事と、今は亡き祖父父母の御霊様に守られている事、この二つの事を実感しました。他にも、母が在職中の日参による御蔭(神様への貯金による助かり)や、家族の事への祈りが大きかったと思います。

難が訪れた事には、何かしらの御無礼があったのではないかと思い、知らずの御無礼をお詫びして、助けて頂いたお礼を申しました。

そして、「祈りのノート」による祈りの稽古もさせて頂いています。母、叔母、叔父、友達など、関わりのある方のお名前を書かせて頂き、心と体の健康の事を第一に、お祈りさせて頂いています。その祈りのお陰によるものなのでしょう。病気の方の容体が軽減された、報告を受け、直ぐにお礼を申しました。改めて、祈りの力の偉大さ、祈りの大切さを実感しました。

また、日々、食物やお水、使わせて頂いている全ての物に対してお礼を申しています。当たり前の物に使ったりしている物でも、使う前のお祈りと、使わせて頂いた後のお礼を申すと、気分的に快適に使えます。物事を行う時でも、させて頂くと云う気持ちで行い、難なく仕事が行えた事もあります。

これからも、神様に頂いた命を大切に、神様のお役に使わせて頂く事の出来る、信心の稽古をさせて頂きます。

平成23年 神奈川山梨教会連合会

天地金乃神大祭日程

教会名	日 程	時 間
横浜西教会	4月17日(日)	13時30分～
甲府教会	4月17日(日)	13時30分～
南甲府教会	4月18日(月)	11時00分～
津久井教会	4月23日(土)	13時00分～
藤沢教会	4月24日(日)	11時00分～
鎌倉教会	4月24日(日)	13時30分～
登戸教会	4月24日(日)	13時00分～
川崎教会	4月29日(祝)	13時00分～
大明教会	4月29日(祝)	13時30分～
子安教会	5月1日(日)	13時30分～
横須賀教会	5月3日(祝)	13時30分～
丸子教会	5月3日(祝)	13時00分～
相模原教会	5月3日(祝)	14時00分～
生麦教会	5月5日(祝)	13時00分～
鶴見教会	5月11日(水)	13時00分～
大磯教会	5月14日(土)	13時00分～
平塚教会	5月19日(木)	13時00分～
野毛教会	5月21日(土)	13時30分～
小田原教会	5月22日(日)	14時00分～
武蔵小杉教会	5月22日(日)	11時00分～
神奈川教会	5月28日(土)	11時30分～

☆連合会からのお知らせ

《震災についてのお知らせ》

先の震災では、思わぬ被害の大きさに皆さまもご心労の多いことと思います。何より、被災された方々へ、心よりのお見舞いを申し上げますと共に、一日も早く心身共に復興のみかげ蒙られますことをお祈り申し上げます。

関東教区内の教会(東京センター調べ)では、茨城県、千葉県地方で壁の剥落や屋根の損壊など、大きな被害も報告されています。しかしその他は「被害なし」との報告が大半でしたことお知らせします。

☆教内の震災被災者支援募金について

▼首都圏フォーラムの窓口

首都圏フォーラムでは、ボランティア活動に信奉者やそのグループが参加していくことを支援するため、募金をお願い致します。

みずほ銀行 本郷支店

普通預金 2765405

「金光教首都圏地震等災害

ボランティア支援機構」

・問い合わせは

首都圏フォーラム事務局 松本信吉

03(3442)0302(金光教麻布教会)

▼金光教本部の窓口

金光教本部は、この地震の被災地域に対する義援金窓口を、以下のとおり開設いたしました。

郵便振替口座番号…

01200・3・14845

「金光教本部教庁災害救援・社会活動資金」

※振込手数料をご負担ください。お振込の際には「東北地方太平洋沖地震義援金」とご明記ください。(金光教HPより抜粋して記載)

〈な・が・れ〉

「ボランティア活動」

相模原教会 末成稔子

参拝させて頂いている相模原教会信徒会では、少しでもお役に立ちたい思いを行動に移そうと、昨年三月より特別養護老人ホームへの御用をさせて頂くことを決めました。その御用とは、特老の二階と三階のエレベーター前のフロアに、季節の風物をテーマにしたものを飾ることでした。

第一回は桜を作ることにしました。各々分担して、家で趣向を凝らし持ち寄ったものを、縦1メートル、横80センチ位の大きな紙に貼ったり、ピンで止めたりと試行錯誤して、春の桜が出来上がりました。エレベーターを出ると目の前に桜の花が咲き、蝶は舞い、鳥は囀り、花びらはハラハラと、さびしかったフロアが楽しい雰囲気になりました。特老の職員の方やお年寄りの方々も大変喜んでくださり、遠い昔を思い出したりされるのではないかと思います。

先生を始め、遠くからバスや電車を乗り継いで来る人など5、6人で御用しています。梅雨には紫陽花、夏には海水浴、秋には紅葉と一年が経ちます。おかげで皆の真心で立派なものが出来るようになりました。教祖様の御教えを些少なながらも行動に現わし、教会信徒一丸となって取り組んでいます。お年寄りの方々が喜んで下さる姿を見て、この有難い御用を少しでも長く続けさせて頂きたいと思っています。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田光一

〒221-0057 横浜市神奈川区青木町六一二十五
金光教神奈川教会内